

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2016
February

No. 167

2



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 2

営農総合支援センター

- JA-TAC活動及び担当者の育成支援
- 担い手対策のための取り組み
- 農産物の安全・安心対策

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- きのか種菌・種駒推進
- こんにやく荒粉・精粉入札販売推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計上州ねぎ販売 (2月末日迄)
- 共計春菊販売 (3月上旬迄)
- 共計泥ねぎ販売 (3月中旬迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計ブリックスナイン販売 (6月末日迄)
- 県統一規格共計きゅうり販売 (7月末日迄)

販売促進課

- 春野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 春用出荷資材予約推進
(ほうれん草・きゅうり・山うど・ふき他)
- 平成28年産青果物段ボール予約推進
- 温床資材予約推進(農ビ・ポリ・マルチ他)
- 春用野菜種子推進
(ほうれん草・枝豆・とうもろこし他)

生産資材部

- 売出し・フェアの実施
 - ☆花木流通センター
2月19日(金)～22日(月) 春一番園芸フェア
 - 2月20日(土) JA農畜産物フェア
 - 2月3・10・17・24日(水) 水曜お米特売
 - ☆愛菜館
2月8日(月) 18日(木) 28日(日)
8の日 お米特売
 - 2月3・10・17・24日(水) 水曜肉特売
- 造園工事推進

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 施設園芸肥料推進
- 水稻培土早期引取推進
- 水稻農薬推進
- 果樹農薬推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 全農日本のお茶ペットボトル推進 (周年)
- 仕込み味噌推進 (10月～3月)
- 蔵出しいよかん・せとか推進 (1月～2月)
- デコポン推進 (2月～3月)

葬祭総合課

- 生花利用拡大運動 (周年)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

石油課

- オイルキャンペーン (2月～5月)

ガス課

- 新生活応援キャンペーン
- 厨房・湯回りリフォーム見積作成キャンペーン



JA-SS 冬のキャンペーン抽選会
(1.13 JAビル)



中古農業機械査定士制度技能検定試験
(1.13 JAビル)

■豪華賞品当選者が決定

1月13日(水)、JA-SS「冬のキャンペーン」の抽選会が須藤本部長、萩原副本部長ら関係者により行われました。このキャンペーンは、県内のJA-SSで11～12月の2ヶ月間実施されていたものです。賞品は、店頭給油応募者が上州麦豚コースすき焼き用・高崎ハム詰め合わせセット・登利平商品券、配達灯油応募者が上州お切り込みご膳となっており、応募総数45,273枚の中から合計で1,000名の当選者を決定しました。

■中古農機市場の健全な発展へ向け

1月13日(水)、「中古農業機械査定士制度技能検定試験」が行われ、県内JAの担当者24名が受験しました。この制度は、中古農機の利用を促進するため、平成26年3月に(一社)日本農業機械化協会により制定されたものです。今後、当試験に合格した査定士による全国共通基準の適正な査定により、適切な価格形成や安全確保、コストの削減等が可能となり、利用者からの信頼向上が期待されます。



家庭で肉料理！フライパンセミナー
(1.16 道の駅玉村宿)



こんにやく大黒天祭
(1.19 諏訪神社)

■家庭でもっとお肉を食べよう

1月16日(土)、群馬県農畜産物販売戦略協議会肉食推進部会「肉食のすゝめ！推進委員会」主催の「家庭で肉料理！フライパンセミナー」が道の駅玉村宿にて開催され、県内外の消費者15名が参加しました。当日は、全国食肉学校教務部専任講師の佐俣氏による食材の扱い方についての指導のもと、上州牛と上州麦豚を使用した「ランプ肉のステーキ」と「豚バラ肉のミルフィーユ鍋」を作りました。参加者からは、「勉強になった。ぜひ自宅でも挑戦してみたい。」との感想が寄せられました。

■こんにやく振興を祈願

1月19日(火)、蒟蒻大黒天祭奉賛会主催の「こんにやく大黒天祭」が諏訪神社にて行われ、当県本部を含むこんにやく関係団体が多数参加しました。この祭りは、こんにやくの豊作や価格向上など業界全体の繁栄を祈願するために毎年開催されており、今年もこんにやく芋の祀られた祭壇で神事が執り行われました。また、当日は味噌田楽の無料配布や奥利根ワイン株式会社の井瀬氏を講師に迎えた記念講演会も行われました。



新春税務セミナー
(1.23 JAビル)



第19回群馬県きのこ品評会
(1.26・27 県庁)

■後悔する前に相続対策を

1月23日(土)、施設住宅課主催の「新春税務セミナー」が開催され、組合員とその家族約80名が参加しました。セミナーでは、税理士の齋藤仁志先生を講師に迎え、「土地オーナー親子で学ぶ、将来に備える相続税・贈与税対策」をテーマに講義が行われました。不動産所得の確定申告についての説明や相続税、相続に関する事例紹介などが行われ、参加者は将来を見据え、真剣な眼差しで受講していました。

■良質なきのこが揃う

1月26日(火)～27日(水)、県・群馬県きのこ振興協議会・当県本部共催の「第19回群馬県きのこ品評会」が開催されました。この催しは、きのこの品質向上と消費拡大を目的に毎年開催されており、今年は生しいたけ・まいたけ・なめこなど6部門、計242点が出品されました。当日は、厳正な審査及び表彰のほか、きのこ汁の無料配布、展示品即売会なども行われました。



第10回 JA農産物検査員鑑定技術コンテスト
(1.27 JAぐんま研修センター)



第9回共乾施設運営管理・環境整備コンクール
(1.28 ライスセンター・
2.5 カントリーエレベーター)

■検査員の鑑定技術向上を図る

1月27日(水)、JAグループ群馬農産物検査協議会主催による「第10回JA農産物検査員鑑定技術コンテスト」が開催され、各JAの検査員24名が参加しました。会場には、水稻うるち玄米・水稻もち玄米・小麦の鑑定試料50点が並び、参加者は目視により品位(等級)・銘柄を鑑定しました。競技の結果、成績上位2名は3月4日(金)に千葉県で行われる「JAグループ全国農産物鑑定会及び意見交換会(全国大会)」へ出場します。

■施設の管理体制を確認

群馬県農協穀類乾燥調製(貯蔵)施設協議会の主催により、共乾施設の適切な運営管理と環境整備・作業の安全・品質事故の防止などを目的とした「第9回共乾施設運営管理・環境整備コンクール」が開催されました。1月28日(木)にライスセンターの部、2月5日(金)にカントリーエレベーターの部が行われ、審査員は県内の各施設を巡回し、運営管理・防災対策・整理整頓状況などを審査しました。



洋蘭フェア
(1.30 花木流通センター)

■洋蘭各種大特価で販売

1月30日(土)、毎年好評の「洋蘭フェア」が開催されました。会場となった花木流通センターのふらわーらんどには、胡蝶蘭を始めシンビジウム・デンドロビウム・カトレアなど色とりどりの洋蘭が所狭しと並べられました。普段なかなか見ることができない珍しい品種や良質な洋蘭がどれも大特価で購入できるとあって、自宅用・贈答用と複数鉢購入するお客様もたくさんいらっしゃいました。

最適な施肥提案 実演研修で学ぶ

1月27日(水)、土壌診断センター主催の「平成27年度施肥面談実習講習会」が開催されました。この講習会は、土壌診断に基づく適正施肥の推進および診断表を説明できる能力を身に付けることを目的としており、県内JA・JA東日本くみあい飼料(株)・当県本部の担当者など約40名が参加しました。

前半は、土壌診断の活用や推進担当者の役割についての説明、県外のJA担当者による事例紹介などが行われました。

後半は、実践形式の研修となり、参加者はまず品目ごとに4つの班に分かれ、用意された土壌診断表に基づき、土壌の養分量などを確認しながら適切な施肥設計を作成しました。その後、各班の代表者が組合員役の講師を相手に施肥面談を実演し、最適な肥料の推進や質問への対応などについて学びました。参加者からは「他の人の方法を見ることができ参考になった。」などの意見も聞かれ、今後の業務に活かせる実践的な研修となりました。



講習会場の様子



各班の代表者が施肥面談を実演

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時間
旬を味わう「美味開運! 高崎そだち」/ JAたかさき	※ 2月28日(日)	AM 8:00 ~ 8:30
ごはん・お米とわたし 作文・図画コンクール / JA群馬中央会	2月29日(月) ※ 3月6日(日)	PM 9:00 ~ 9:30 AM 8:00 ~ 8:30



山部 朱里アナ

未来を担う若手農業者が結集



1月25日(月)、「JAグループ群馬若手農業者交流大会」が開催され、若手農業者やJA関係者ら約180名が参加しました。JAグループ群馬初となる今大会では、(株)日本総合研究所主席研究員の藻谷氏を講師に招き、「里山資本主義から見る群馬県の地域・農業の可能性」をテーマに基調講演が行われた。他、藻谷氏と全国農協青年組織協議会会長の天笠氏、群馬県農協青年部協議会委員長の水野氏の3名によるパネルディスカッションも行われ、「地域活性化のために農業者が取り組むべきこと」をテーマに、農業の6次産業化や食農教育の大切さなどについて活発な意見交換が行われました。

**群馬
ふるさと
プレミアム**

ふるさと群馬のとおき
味わい豊かなプレミアム米

育ちは
ふるさと
ぐんま県

ハルタイズ

利根川原流の
きれいな水と
冷涼な気候に
はぐくまれた
ぐんまのお米

JA利根沼田コシヒカリ

利根さらり

受付期間：通年

群馬産小麦

**群馬県
JAグループ
限定品!**

上州もみ切りうどん

「空っ風」に耐えて育つ上州小麦は粘りが強く、うどん用に適しています。
挽きぐるみの上州粉100%でみずみずしさが長持ちする「もみ切り打ち（めん）に凹凸を入れています」で仕上げたうどんは、上州小麦の香りともちもちした味わいをお楽しみいただけます。JAグループ群馬限定の一品。ぜひ、ご賞味下さい。

ゆで時間：
7～8分

**税込
価格**

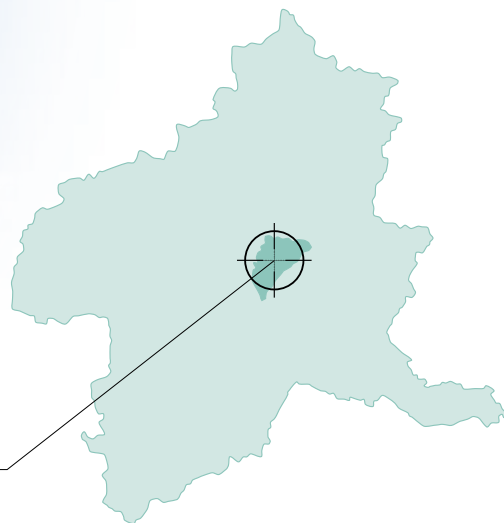
1,200円

1箱 380g×4袋入

ご注文は JA全農ぐんま 生活課へ
TEL 027-220-2351 FAX 027-220-2324

農業 チャレンジ

JA赤城たちばな



料理人としての経験 農業に活かす

JA赤城たちばな管内 萩原 聡さん



萩原 聡
(はぎわら・さとし)さん

1986年生まれ、29歳。
渋川地区農業青年クラブ
北橋青年部生産者協議会
JA赤城たちばな青年部 所属

ハウス棟数：10棟

趣味：野菜作り・ゴルフ・
飲み会・読書

心機一転農業の道へ

今回のチャレンジャーは、JA赤城たちばな管内でしいたけを栽培している萩原さんです。イタリアンレストランでコックとして働いていたという萩原さん。就農の経緯を伺うと、「料理の修行のためイタリア留学を考えていたのですが、祖父と父から猛反対され、自分の将来を見直すこととなりました。それがきっかけで農家の後継ぎとしての立場を再認識し、しいたけ農家を継ぐことを決心しました。1年ほどは料理人への未練がありましたが、一緒に農業に励む仲間が増えたことでやりがいを感じるようになりました。」と話してくれました。

今年で就農4年目。ご両親・従業員と共に、菌の植え付け・培養・収穫などの作業に日々邁進しています。

イタリア野菜作りに挑戦

萩原さんは、しいたけ生産の他にも畑の一角を利用し、ルッコラ・ズッキーニ・黒キャベツ等のイタリア野菜も栽培しています。「野菜作りは趣味で始めたのですが、コック時代の知り合いに頼まれ、レストランへ卸すようになりました。これが好評

で、今では県内8店舗のレストランに自分の作った野菜を使ってもらっています。食材を扱うプロに任せれば作物を無駄なく使ってもらえますし、お店でお客さんの感想を直に聞くこともできるので勉強になります。」と萩原さん。鮮度が高く、安心な野菜が手に入るとお店からも喜ばれているそうです。

新たな取り組みに意欲

萩原さんは以前、レストランで自慢のしいたけを使ったメニューのみを提供するイベントを行ったことがあるそうです。「しいたけの肉詰めやオイル焼き、カルパッチョなどのこだわり料理の数々にお客さんからは反響をいただきました。こうしたイベントを開催することで自分が作った物をおいしく食べてもらえれば嬉しいですし、料理人に食材への興味を持ってもらうきっかけになればと思っています。今後は、自分だけでなく周囲の生産者も巻き込んでレストランと一緒に何かおもしろいことをやっていきたいですね。」と話してくれました。コック時代に培った交友関係を強みに新たな挑戦を続ける萩原さん。今後、一層の活躍が期待されます。



1



3



2



4

1 菌床を清潔に保つため、ひとつひとつ手作業で手入れをしています。

2 収穫を待つしいたけ。萩原さんのハウスでは、1日50kgから200kgほどの収量があるそうです。

3 イタリア原産の野菜、カーボロネロ（黒キャベツ）。今の時期はその他に、ソラメ・グリーンピース等を栽培しています。

4 「しいたけは、調理方法次第でメイン料理にも付け合せにもなります。いろいろな食べ方を楽しんでほしいです。」と萩原さん。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JAたかさき
オートパル高崎

箱田 大介さん

Profile

はこだ・だいすけ (37歳)

趣味 草レース

レース用愛車 FTO

休日の過ごし方 ... 愛車のメンテナンス

●職場の皆さんからみた箱田さん

「真面目かつ一番の車好きで、優れた技術を持っています。組合員さんからの評判も良く、これからのJAを任せられる存在です!」

「車への情熱は誰にも負けません」

——オートパル高崎で働くことになったきっかけは何ですか？

昔からモータースポーツや車いじりが好きで、以前から車に携わる仕事をしていました。10年ほど前にこちらに転職し、最初は臨時職員として働いていましたが、試験を受けて正職員となりました。

——仕事内容を教えてください。

組合員さんのお宅への車の引き取り・納車を始め、自動車整備全般と見積もりや事務処理等を行っています。組合員さんが気軽に相談できる身近な存在として、車に関するあらゆる要望に応えています。

——仕事をする上で気をつけていることは何ですか？

やはり持ち主が一番車のことをわかっているの、お預かりするときに状態を詳細に聞き取るようにしています。また、過剰整備にならないようお客さんの使い方から判断し、最適な提案をしています。

——趣味の「草レース」とはどのようなものなのですか？

一般の方が参加できるクラブチーム主催の自動車レースです。国内の主要なサーキット場で年間5戦開催されています。その大会へ向け、日々愛車の調整を行っています。

——調整とはどのようなことをするのですか？

より速く走らせるために車高を変えたりエンジンや部品等を取り換えたりします。こだわり出したらキリがありません。あとは、自分自身の腕を上げるために動画を見てイメージトレーニングもしています。

——レースの魅力を教えてください。

チューニングした愛車の性能を十分に発揮させられ、公道では体験できない速度域を味わえることやレース中の抜きつ抜かれつの駆け引きがとてもおもしろい

ろいです。

——最後に、今後の意気込みをお聞かせください。

現在、ガソリン2級整備士資格を持っているのですが、いずれは検査員の資格を取り、業務の幅をもっと広げたいと思っています。また、今後も日々の作業を素早く正確に行い、組合員さんに喜んでいただける仕事をしていきたいです。

——箱田さん、これからも頑張ってください!ありがとうございました。



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は1月25日に12月の牛乳乳製品統計を公表した。12月生乳生産量は62万193tで前年に比べ1.1%増加した。北海道は32万8,329t(前年同月比2.4%増)で生産量の全国シェアは53%となった。

都府県の生産量は29万1,864tとなり、前年同月比で0.3%減少した。

■販売及び乳製品情勢

12月の用途別処理量は、牛乳等向けが31万1,055t(前年同月比1.7%増)、乳製品向けが30万4,470t(〃0.7%増)となった。

飲用牛乳等生産量は27万8,726ℓ(〃0.5%増)で前月から0.2ポイント増加し、内牛乳が24万1,892ℓ(〃0.7%増)、また乳飲料は9万4,568ℓ(〃1.8%減)で前月より0.3ポイント増加した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳生産量	全 国	625,011	648,952	624,650	628,725	608,496	592,876
	群馬(委託実績)	18,539	19,033	17,853	17,612	17,190	16,517
	本会(委託実績)	5,955	6,116	5,719	5,542	5,300	5,168
用途別処理量	飲用牛乳等向け	322,457	347,312	349,033	338,115	322,777	337,971
	乳製品向け	297,955	296,945	270,983	285,841	281,149	250,222
	その他向け	4,599	4,695	4,634	4,769	4,570	4,683
前年対比	生乳生産量(全国)	99.7	99.8	100.9	101.8	101.4	101.6
	〃(群馬)	98.5	98.9	99.4	100.0	101.4	100.2
	〃(本会)	96.1	97.2	98.0	98.1	97.9	98.1
	飲用牛乳等向け	102.7	101.5	101.1	100.3	101.9	98.7
	乳製品向け	96.7	97.9	100.8	103.5	100.9	105.9
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	603,329	588,497	620,193				5,540,729
	16,976	16,729	17,653				158,102
	5,323	5,207	5,536				49,867
	343,924	328,559	311,055				3,001,203
	254,811	255,325	304,470				2,497,701
	4,594	4,613	4,668				41,825
	100.9	100.8	101.1				100.9
	99.9	100.0	101.2				99.9
	97.3	97.0	99.6				97.7
	99.5	101.2	101.7				101.0
	102.9	100.4	100.7				101.1

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(2月予想)：牛肉は弱もちあい。前年同期を上回る水準は続きそうだが、引き合いは弱まる見通し。ただ慢性的な不足感が解消されないため、相場は小幅下げにとどまる見込み。

肉牛枝肉相場(予想)

・和牛去勢A5	2,850円中心	・和牛去勢A3	2,450円中心	・交雑去勢B3	1,650円中心
・和牛去勢A4	2,600円中心	・和牛去勢A2	2,130円中心	・交雑去勢B2	1,600円中心
		・交雑去勢B5	2,140円中心	・乳牛去勢B2	1,100円中心
		・交雑去勢B4	1,840円中心		

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛去勢A4	26年-27年	1,899	1,914	1,893	1,862	1,959	2,006	2,129	2,166	2,163	2,297	2,288	2,257
	27年-28年	2,283	2,349	2,252	2,255	2,349	2,395	2,455	2,539	2,754	2,645		2,428
	前年格差	384	435	359	393	390	389	326	373	591	348		358
和牛去勢A3	26年-27年	1,669	1,664	1,658	1,662	1,726	1,797	1,988	2,019	1,933	2,059	2,079	2,055
	27年-28年	2,098	2,132	2,080	2,085	2,106	2,133	2,228	2,349	2,485	2,464		2,216
	前年格差	429	468	422	423	380	336	240	330	552	405		357
和牛去勢A2	26年-27年	1,516	1,492	1,486	1,455	1,532	1,663	1,757	1,863	1,648	1,819	2,000	1,828
	27年-28年	2,026	1,848	1,866	1,956	1,832	1,909	1,989	2,167	2,275	1,840		1,971
	前年格差	510	356	380	501	300	246	232	304	627	21		299

群馬県食肉卸売市場上場頭数・全国と畜頭数

(単位：頭)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
26年-27年	1,291	1,098	1,104	1,262	1,068	1,216	1,232	1,465	1,385	1,005	1,091	1,012	14,229
27年-28年	1,085	946	907	1,151	871	1,004	1,084	1,390	1,321	966			10,725
前年格差	▲206	▲152	▲197	▲111	▲197	▲212	▲148	▲75	▲64	▲39			▲3,504
全国と畜頭数	25年-26年	103,062	95,418	90,357	104,661	91,687	93,321	104,050	117,198	113,212	86,606	85,968	91,771
	26年-27年	99,464	91,001	90,327	102,267	88,474	95,800	105,092	110,615	109,345	85,310	85,824	92,201
	27年-28年	95,755	83,324	89,621	98,748	84,388	88,223	95,304	106,249	102,271			843,883
	前年比	96.3	91.6	99.2	96.6	95.4	92.1	90.7	96.1	93.5			98.2

■素牛動向

①和牛子牛	(去勢) 797千円平均 (前月比102%)	(雌) 698千円平均 (前月比102%)
②F1価格	(去勢) 250~300kg 1,441円/kg平均	(雌) 250~300kg 1,263円/kg平均
③全農・取引基準価格(乳去)	260~300kg 785円/kg平均 (前月比97.3%)	

養豚情勢

枝肉相場関係

群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

※平成25年4月より相対を含む。（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
25年-26年(A)		450	499	485	498	507	499	466	477	521	458	467	496	485
26年-27年(B)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588	565	569
27年-28年(C)		569	535	565	613	615	530	471	481	531	472			538
(B-A)		103	83	136	82	41	49	51	92	88	89	121	69	84
(C-B)		16	▲47	▲56	33	67	▲18	▲46	▲88	▲78	▲75			▲31

豚肉価格形成要因

群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	26-27年	44,690	39,069	36,628	39,821	35,032	40,542	44,979	36,865	41,060	39,158	37,138	39,152	474,134
	27-28年	41,752	37,407	39,299	40,863	35,998	42,383	45,504	42,103	45,522	39,121			409,952
前年比(%)		93.4	95.7	107.3	102.6	102.8	104.5	101.2	114.2	110.9	99.9			86.5

肉豚生産出荷予測（全国） ※12月まで実績／1月以降の出荷予測は

1月19日付けで農水省畜産部食肉鶏卵課が発表

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	7月~9月	10月	11月	12月	10月~12月	1月	2月	3月	1月~3月	4月	5月	6月	4月~6月
全国出荷予測頭数(千頭)		3,857	1,443	1,410	1,484	4,337	1,451	1,358	1,412	4,225	1,369	1,328	1,326	4,023
前年同月比(%)		99	101	109	101	104	108	106	103	106	100	107	102	103

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、2月の出荷見込頭数は1,358千頭(前年同月比106%)となっている。その後は3月1,412千頭(〃103%)、4月1,369千頭(〃100%)と予想されている。豚肉相場は、強含み。前倒しで出荷が進んだ反動で出荷頭数が減り相場を下支えする見通し。

消費は気温の低下に伴い鍋物用部位の売れ行きが回復してきた。気温の変動に応じて部位を選びながらの促進を予定する大手スーパーも多くなり荷動きは良くなる見通し。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

価格の推移

平成28年2月200円(見込み) 96%(前年比)

（単位：円）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
26年-27年(A)		223	204	199	190	192	231	240	242	248	192	209	219	216
27年-28年(B)		227	230	223	213	219	247	250	252	255	182			230
(B-A)		4	26	24	23	27	16	10	10	7	▲10	0	0	14
全国基金	26-27年	0	0	0	2.088	0	0	0	0	0	2.907	0	0	
補填	27-28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.005			

■価格動向：1月の平均単価は182円(前年同月▲10円)と前年同月を下回り、平成27年2月～平成28年1月期平均は227円(前年同期比+8円)であった。

■出荷動向：寒さが緩むにつれ卵重、産卵率ともに安定しそう。生産量は前年に比べ多くなるが旺盛な需要で相場は強く展開する見通し。

■需要動向：前半は中国の春節のインバウンドが増え外食需要が強まり、後半は決算期を迎えるスーパーの特売需要が増える見通し。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入実績(t)	26-27年	2,286	2,314	2,393	2,427	2,137	1,974	2,273	1,877	2,192	2,067	2,542	2,231	26,713
	27-28年	2,449	1,888	2,307	1,979	1,803	1,794	2,574	2,196					16,990
前年比(%)		107.1	81.6	96.4	81.5	84.4	90.9	113.2	117.0					63.6
餌付羽数(千羽)	26-27年	8,205	8,291	8,405	8,408	7,048	8,622	8,071	7,369	8,295	7,941	7,764	8,734	97,153
	27-28年	7,872	8,422	8,640	8,375	7,263	8,244	8,418	7,716	8,547				73,497
前年比(%)		95.9	101.6	102.8	99.6	103.1	95.6	104.3	104.7	103.0				75.7

■価格の推移

(1) 17年:204円 (3) 19年:169円 (5) 21年:175円 (7) 23年:188円 (9) 25年:207円
(2) 18年:184円 (4) 20年:193円 (6) 22年:194円 (8) 24年:181円 (10) 26年:216円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

1月12日の米国農務省需給見通しでは、米国とうもろこしの2014/15年産は、供給量と需要量ともに見通しの変更はなかった。

2015/16年度は、単収見通しが168.4ブッシェル/エーカー（前月発表169.3ブッシェル/エーカー）と下方修正されたため、供給量も15,372百万ブッシェル（前月発表15,415百万ブッシェル）と下方修正された。

需要面では、甘味料原料としての需要の下方修正、および南米産の競争力増加を反映した輸出需要の下方修正により、需要量全体では13,570百万ブッシェル（前月発表13,630百万ブッシェル）に下方修正された。

期末在庫率は、需要量が生産量の下方修正よりも大きかったため、13.28%（前月発表13.10%）に増加し、結果として2005/06年産以来の高い在庫水準見通しとなった。

シカゴ定期は、競争力ある南米産とうもろこしに引っぱられる形でシカゴ定期は軟調に推移していたものの、1月12日の米国農務省需給見通し発表を境目に相場は堅調に転じている。

直近については、南アフリカが自国の干ばつを要因として、本来はとうもろこし輸出国でありながら500～600万トンの輸入が必要と発言するなど、市場環境は大きく変動しており

注視が必要である。直近の3月限は360セント/ブッシェル前後で推移している。

②大豆粕

1月12日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2015/16年産について、収穫面積と単収が減少したことにより、生産量は51百万ブッシェル下方修正され、供給量3,930百万ブッシェル（前回4,203百万ブッシェル）となった。供給量の減少に伴い、輸出需要は25百万ブッシェル減少し、1,690百万ブッシェルとなった。結果として、需要量は3,711百万ブッシェル（前回3,738百万ブッシェル）となった。期末在庫は先月から25百万ブッシェル減少し、440百万ブッシェル（在庫率11.86%）となった。

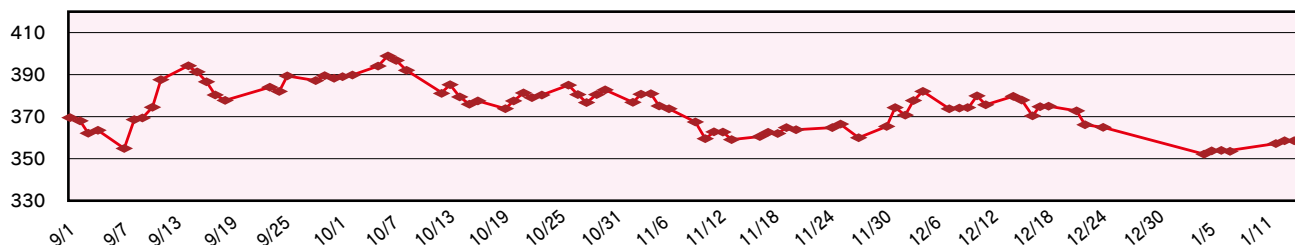
大豆粕のシカゴ定期は、消費国の需要動向に影響されながら3月限は270ドル台前後で推移している。

■海上運賃

直近の米国ガルフ～日本間のパナマックス型運賃は、年明け以降原油相場下落などを受け、やや軟調に推移している。今後も弱含みの推移が続くと見込まれるが、中国による旧正月前後の南米産大豆の引合い動向には、注意が必要である。

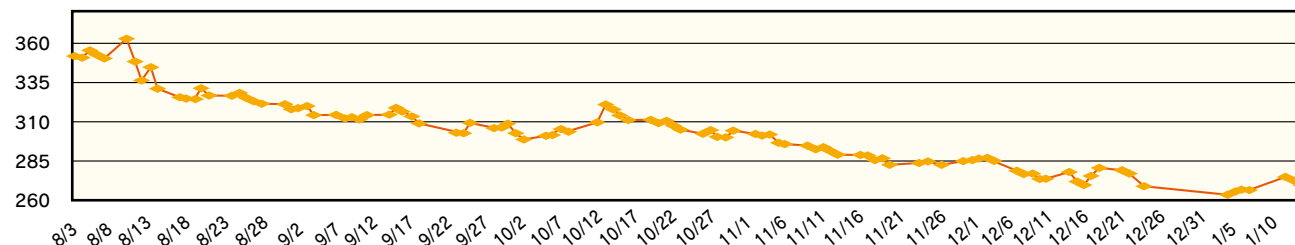
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



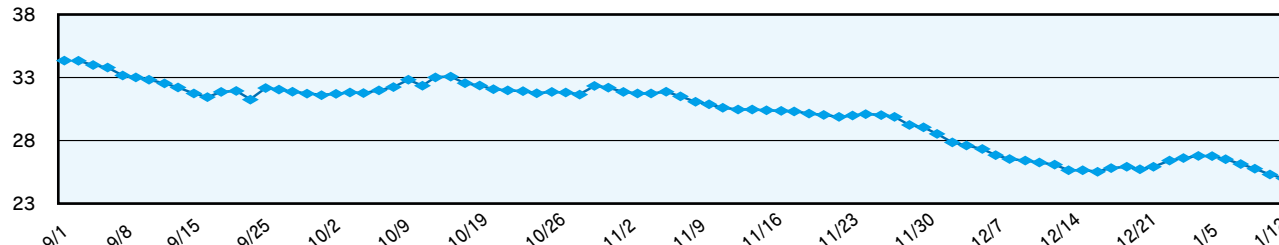
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

花木流通センター・ 愛菜館 大創業祭開催!!

日頃の感謝の気持ちを込めて、
お得な商品や楽しいイベントが盛りだくさん☆

愛菜館15周年大創業祭

日時 3月5日(土)・6日(日)

内容

- くじ引き(お買い上げ1,000円以上で)
- 群馬県食肉卸売市場 上州牛・上州麦豚試食販売
- 生産者による青空市
- 県産農畜産物を使用した豚汁の無料配布

など

花木流通センター41周年大創業祭

日時 3月18日(金)～21日(月)

- 群馬県食肉卸売市場 上州牛・上州麦豚試食販売
- JA高崎ハム(株) 出張販売

など

3月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください!

開催日	内容
3月5日(土) 10:00～	じゃがいも栽培講習会 & 管理機実演即売会 【参加費無料・申込み不要】
3月5日(土)～6日(日)	愛菜館15周年大創業祭
3月18日(金)～21日(月)	花木流通センター41周年大創業祭

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。



花と緑あふれる広場
KABOKU
花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～2月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

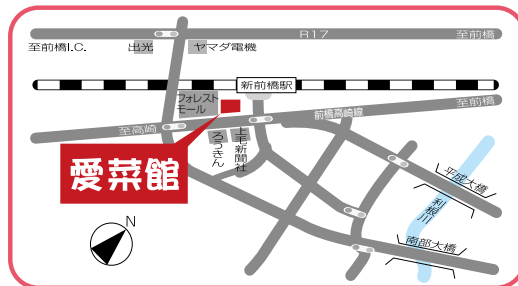
前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

やさいひるば
JA直販 愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



バニラアイスのキウイフルーツ コンフィチュールかけ

材 料

2人分 (1人分398cal)

キウイフルーツ 10個
りんご 1/2個
砂糖 230g
レモン汁 大さじ2
酢 大さじ2
バニラアイス 140ml

作り方

- 1 キウイは皮をむき粗く刻む。りんごも同様に切る。
- 2 耐熱ボールに1を入れ、砂糖・レモン汁・酢を加え電子レンジにかける。(1000wで15分) 加熱の途中でかき混ぜる。
- 3 2を鍋に移して火にかけ、水分をとばす。(鍋底に木べらで線が書けるぐらい。)
- 4 器にバニラアイスを盛り、3のコンフィチュールを大さじ1位かける。